



2021.8. 4 <計2枚>

報道機関 各位

京都橘大学広報課

With コロナ時代における学び方改革

無印良品 京都山科との協働によるテンポラリーアーキテクチャーを学生が提案
ー時代とともに変遷し、進化する社会実装キャンパスへー

特別ワークショップ開催日時：2021年8月7日（土）9：50～15：00

開催場所：京都橘大学アカデミックリンクス 2F クリエーションラボ

京都橘大学では、無印良品 京都山科と協働し、キャンパス内で利用するテンポラリーアーキテクチャー（仮設建築）の製作を行っています。8月7日（土）には、実際に使用する家具の製作ワークショップを実施します。

本学は、現在、キャンパスの大規模改修を進めており、2021年9月には工学部建築デザイン学科が主として利用する校舎が完成する予定です。

今回のワークショップでは、実際に利用する学生からアイデアを募集し、学内コンペティションの結果、選ばれた建築物を無印良品の協力をもとに学生自身が製作します。

学習者が主体的に学べる環境としてラーニングコモンズを整備するなど、大学のキャンパスは様々に発展をしてきました。今後さらに加速度を増しながら変化する、予測困難な社会に向き合い続けていくために、本学のキャンパスは実証実験や新しいプラットフォームの導入など、学生たちが学びあい、多岐に活動し、生活する空間として、時代と共に成長、進化させていく必要があると考えています。

また、大学での学び方もコロナ禍によって大きく変わってきました。コロナが収束した後もオンライン授業をはじめ、新しい教育のスタンダードを創出するとともに、研究や教育成果によって課題を解決していける社会実装キャンパスを目指しています。

これらを踏まえて、本学は、多様な価値観をもつ学生たちが企画・制作するテンポラリーアーキテクチャーを取り入れたキャンパスづくりを開始しています。

今後、無印良品 京都山科とのさらなる連携を進め、山科のまちが公共空間デザインの新しい在り方の糸口となるよう、取り組んでいく予定です。

記

【特別ワークショップ「つづく場・つなぐ場～活動から考えるテンポラリーアーキテクチャー～」】

開催日時：2021年8月7日（土）9：50～15：00

開催場所：京都橘大学アカデミックリンクス 2F クリエーションラボ

参加者：工学部建築デザイン学科（旧・現代ビジネス学部都市環境デザイン学科）学生 18名
無印良品 10名

制作予定建築物：移動型マルシェ、無印良品のキッチンカー用テーブル、椅子など

別紙

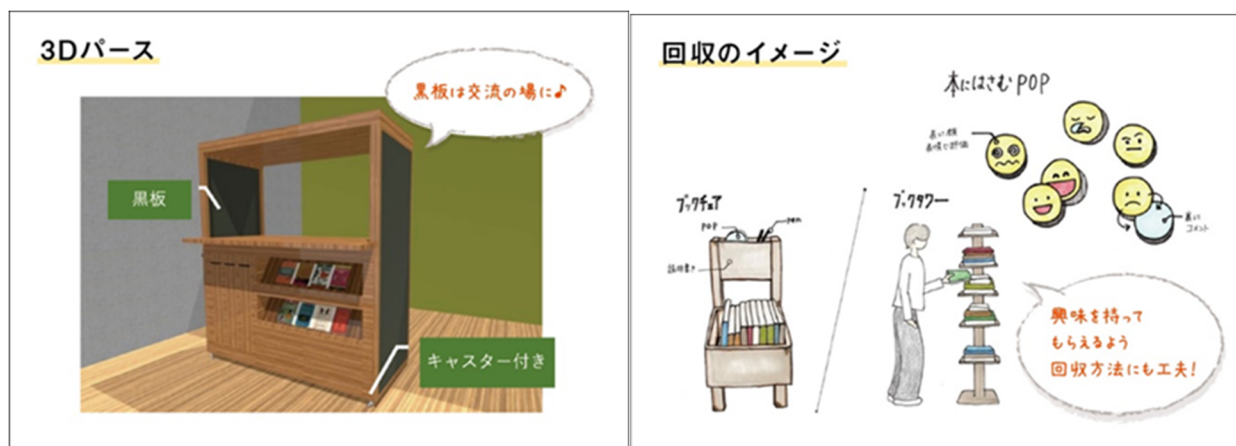
【無印良品 京都山科について】

無印良品 京都山科は、2019年11月に地域との協業をコンセプトにした店舗です。近郊地域の食材を取り扱う食の専門フロアを展開して、地元の人々と密接に連携した各種の取り組みを展開されています。本学と無印良品 京都山科は、これまでコロナ禍における学生への食生活支援の協力を行うなど連携事業を進めてきました。

【8月7日（土）に製作するテンポラリーアーキテクチャーについて】

(1) 製作するテンポラリーアーキテクチャーについて

製作する建築物の一つとして移動式マルシェ「つなげる屋台」があります。「知識と技術をつなぐ」をコンセプトに、使わなくなった教科書や余った資材をリユースし、屋台の設えで製作した建築物を軸に学生間のつながりを生みだすことを企図しています。屋台には情報交換のための伝言板や、回収のためのブックタワーやブックチェアなども付属し、つながりや楽しさを生む工夫を凝らしています。将来的には地域の方にも利用していただくことを想定しています。



(2) 無印良品チームによるテンポラリーアーキテクチャーについて

無印良品チームのコンセプトは、「移動販売 ～動く無印良品～」です。本学キャンパス内にて、様々な趣向での移動販売を想定しています。8月7日（日）は、この移動販売のためのテーブルや椅子などを製作されます。



以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：石原、谷川 TEL.075-574-4112